

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【246】
2. 日時：令和4年8月3日 14時00分～15時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、植木主任安全審査官

千明主任安全審査官※、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官

谷口技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他6名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他8名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 担当※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	規制庁のハツリです。
0:00:08	ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:13	本日の議題は、保管アクセスの地盤関連になりますがよろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:23	はい。中国電力、高松です。おっしゃる通り本日は保管アクセス地盤関連でお願いします。以上です。
0:00:31	規制庁の服部です。それでは本日の説明の進め方の方について説明をお願いしますどうぞ。
0:00:39	はい。中国電力、高松です。本日の進め方ですけども、今回前回の 7 月の 6 日のヒアリングでコメントいただきました 4 問について、ご回答させていただきます。
0:00:52	一つ目の回答はですね、保管場所の車両の配置のことになりまして、これについては、本社広島側からご回答させていただきます詳細後でご説明しますが、
0:01:06	コメント整理表 13 ページの 90 番になります。で、この 90 番については広島側から回答させていただいて質疑応答を、
0:01:16	いただきたいと思っております。その後ですね、91 番から 93 番の残り 3 問につきましては、土木関係の損壊対策の設計のご回答になりますので、
0:01:27	これはこちら、東京側からご回答させていただきます。で、この 3 号につきましてはですね、1 件 1 問 1 等の形で回答整理表と、補足説明資料等、行ったり来たりでご回答したいと思うんですけど。
0:01:42	1 回通しでのご説明させていただいた上で質疑応答をしていただきたいと思っております。今日の進め方については、これでいきたいと思っておりますがいかがでしょうか。
0:01:55	規制庁の服部です。
0:01:57	1 問 1 等といった後で通しで言ったのでどっかわからないんですけど一応通しで説明があるということでよろしいでしょうか。どうぞ。失礼しました。91 から 93 については通しでご説明させていただきたいと思っております。
0:02:11	規制庁の服部です。はい、わかりました。それではまず資料の確認をお願いしますどうぞ。
0:02:20	はい。本日お配りしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	すいません、中国電力大窪です。
0:02:27	まず、ナンバー一番としまして、資料番号。
0:02:31	N-Sミイオカ 086808。
0:02:35	島根原子力発電所第 2 号機指摘事項に対する回答整理表、各戸保管場所及びアクセスルート、
0:02:43	こちらを一番、
0:02:45	します。
0:02:47	はい。
0:02:48	次、続きましては、資料番号NS2- 1026 回 01。
0:02:55	別添資料を、ナンバー2 とします。
0:03:00	続きまして、NSDの 1026 回 01、括弧日。
0:03:07	こちらをA3 版とします。
0:03:11	続きまして、
0:03:13	N-S2 歩 020、
0:03:16	甲斐。
0:03:17	新居市、
0:03:18	こちらを 4 番とします。
0:03:22	続きまして、最後に、N-S新野ほか 043 回 06、
0:03:28	こちらを 5 番とします。
0:03:32	以上となります。
0:03:40	規制庁のハツリです。はい。資料が確認資料の確認ができましたので、それではまず、
0:03:47	90 番ですかね。
0:03:48	90 番の方を中国電力本社側から説明の方お願いしますどうぞ。
0:03:55	中国電力の藤本です。それでは資料の一番、質疑事項に対する回答整理表のNo.90、
0:04:03	から回答させていただきます。No.90 が、第 1 保管エリアの埋め戻し土壌に配置するALPHA及び予備の地震によるアクセスルートへの影響について説明すること。
0:04:13	こちらの回答が、アクセスルートへの影響がないように、台帳管理の埋め戻し所、上に配置するALPHA及び予備を、岩盤上に配置するように変更いたしました。
0:04:23	資料の 04 補足説明資料の 2 ページ目をお願いいたします。
0:04:32	2 ページ目の一番上、図 4-2(1)を、ご確認願います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:38	前は、第1保管エリア北東部のメンバーの指導の上に、可搬型重大事故等対処設備に対して離隔距離を確保した上で、予備等を配置をしていました。
0:04:48	この配置箇所につきまして、アクセスルートへの影響についてご指導ご指摘をいただきましたが、コメントのいただいた通り埋め戻しの北側に、アクセスルートが隣接していることから、この影響を考慮する必要があります。
0:05:01	判断し、影響がないように、当該森藤部の予備等の埋戻し状エンドウメモとしての上の配置を取り止め、同じ台帳管理の中、この中の岩盤上に、
0:05:13	等の配置上余裕がありましたので、そこに配置をするように、今回を変更、今回変更しております。
0:05:19	回答につきましては以上になります。
0:05:23	規制庁の服部です。はい。それではただいまの説明に対して、確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:05:31	はい。
0:05:31	規制庁、平宇津、今、説明していただいた内容で結構です。よろしくお願いします。
0:05:41	規制庁の服部です。他にあればお願いします。
0:05:44	よろしいでしょうか。
0:05:46	それでは引き続き説明の方お願いしますどうぞ。
0:05:52	はい。中国電力大窪です。
0:05:55	それでは資料番号1の13ページ、お願いします。
0:06:02	No.91番、
0:06:04	についてです。
0:06:05	コメント内容といたしまして、敷き鉄板に作用する幅と、
0:06:10	計算条件、カック式鉄板の断面係数について、その妥当性を含めて説明すること。
0:06:17	です。回答としましては、
0:06:20	四季鉄板による損壊対策については、車両通行時の地耐力及びし、
0:06:27	式Pepperのたわみ崩壊幅の考え方を見直し、より確実に車両通行性が確保できるよう、一型高に計画を、
0:06:35	変更します。
0:06:38	記載の通り、地中埋設構造物の損壊対策工として、前回まで敷き鉄板と一型コウノ2種類を御説明してはりましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:48	道が他校のみとすることといたしました。
0:06:52	資料番号 4-30 ページをお願いします。
0:07:01	こちらの表 8-8 で、
0:07:04	赤ハッチングで示しております。
0:07:07	29ヶ所について、一型行敷設による事前対策を実施する旨を記載しております。
0:07:15	続きまして 50 ページをお願いします。
0:07:27	50 ページ以降で、損壊対策の設計、
0:07:31	について敷き鉄板に関する記載は削除し、一型コウノみの設計を記載しております。
0:07:38	なお、一型コウノ評価方法については、前回ヒアリング内容でご説明させていただいた内容から変更はありません。
0:07:49	No基準については以上となります。
0:07:52	続きまして資料番号 1-13 ページの、
0:07:56	No.92 番、お願いします。
0:08:03	コメント内容といたしまして、設計例の代表性について、個別説明の前段に追記して説明すること。
0:08:12	回答といたしまして、
0:08:13	段差緩和対策については、段差量が最大の箇所。
0:08:18	損壊対策については、地中埋設構造物の内宮幅が最大となる箇所を代表に設計例を示す旨を追記しました。
0:08:29	こちらについては、資料番号 4-32 ページをお願いします。
0:08:42	後述いたします。設計例の前段の段階で、
0:08:46	設計例にします、代表構造物に関する記載を、
0:08:50	選定理由を含め、追記しております。
0:08:54	この黄色ハッチングの部分読み上げますと、
0:08:57	また段差緩和対策等の詳細については、
0:09:00	8 ポツ 4 段差緩和対策等の設計に示す。
0:09:04	なお、段差緩和対策及び損壊対策については、
0:09:07	複数箇所実施するため、段差量が最大となる箇所。
0:09:11	学校等主番号 3、1 号機南側モリイドブ地盤改良部及び、
0:09:17	地中埋設構造物の内宮幅が最大となる箇所。
0:09:21	かっこ通し番号 29、光ケーブルラックと、
0:09:24	括弧ナンバー21 ダクト。
0:09:27	の設計例を代表に示し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:29	他の対策箇所についても同様に、同様の設計を行う。
0:09:35	と記載しております。
0:09:38	続きまして、同じ資料番号 4-33 ページ。
0:09:43	お願いします。
0:09:46	こちらの代表性をイメージした箇所として、
0:09:50	表 8-9 の、
0:09:52	下にあります、注記 1 と 3 に、
0:09:55	設計例で示す構造物がわかるように、
0:09:59	追記しております。
0:10:02	続きまして 55 ページをお願いします。
0:10:14	表 8-13 の注記と、
0:10:17	注記 1 と 2 の構造物一覧表にも同様に、設計で示す。
0:10:23	構造物が、
0:10:24	わかるように追記しております。
0:10:30	あ、失礼しました。今の 51 ページです。失礼しました。
0:10:44	コメントNo.92 については以上となります。
0:10:51	続きまして資料番号。
0:10:53	A4、1-13 ページ。
0:10:58	No.93 番お願いします。
0:11:04	コメント内容といたしまして、
0:11:07	損壊対策括弧敷き鉄板の設計について、
0:11:10	地耐力評価の妥当性及びたわみ量による影響評価を詳細に説明すること。
0:11:19	回答といたしまして、引き鉄板による損壊対策については、車両通行時の地耐力
0:11:26	及び敷き鉄板のたわみ、
0:11:28	損壊幅の考え方を見直し、より確実に車両通行性が確保できるように、
0:11:34	一型高に計画を変更します。
0:11:38	括弧No. 91 コメント回答と同様です。
0:11:44	こちら、No.91 コメント回答の通り、
0:11:48	敷鉄板取り止め一型コウノ見とる対策としておりますが、
0:11:52	一型コウノ設計についても、
0:11:55	長期コメントを受け、考え方の整理及びたわみ量の評価を実施しております。
0:12:01	資料番号 4 の、13、57 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:12	以前まで記載しておりませんでした。一型コウノた未了も評価項目に追記し、解析による判定はOKであることを確認しております。
0:12:24	また地耐力評価の妥当性については、58 ページをお願いします。
0:12:33	括弧 3 項、一型講師支持地盤の支持力評価基準値について、
0:12:40	というこも項目において、
0:12:43	一型こう指示することによる、
0:12:46	図 8-1 に示す地中応力の分布範囲を考慮すると。
0:12:51	1 メートルの
0:12:53	余裕と、
0:12:54	販促角を考慮した、スパン長の設定において、
0:12:58	設定では、
0:12:59	一型こうと。
0:13:01	一番の設置部分の主力評価基準値として、坂雑賀試験結果を用いることが妥当であるということを確認しております。
0:13:13	さらに、59 ページ 60 ページをお願いします。
0:13:19	40 分公式を用いた場合の極限支持力、 $Q_d$ についても参考に算出しております。
0:13:27	極限支持力 $Q_d$ は長期の伴采華試験結果を上回っており、
0:13:33	保守的な評価基準値を用いて評価を行っていることを確認しております。
0:13:40	最後に、訂正といたしまして、
0:13:43	60 ページをお願いいたします。
0:13:48	こちらの 49 ケース。
0:13:50	について、
0:13:51	となりますが、こちら図 8-3 ではなく図 8-4 になりますので、
0:13:57	訂正させていただきます。
0:14:00	申し訳ありません。
0:14:07	コメント回答としましては、以上の 91 番から 93 番以上になります。
0:14:14	規制庁のハットリです。はい。それではただいまの説明に対して確認する点がある方をお願いします。
0:14:22	よろしいですか。
0:14:24	では私から 1 点確認します。地耐力についての考え方をもう一度確認します。
0:14:39	58 ページをお願いします。資料番号 4 番の 58 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:46	ちょっとこれ私が見て、こういう考え方もあるかなあということで少し悩んだんですけれども、これはあくまでも、地中応力の、
0:14:55	分散分布というか分散というか、応力 9 コウノか立入を考慮してどれだけ分散していくかという話になっています。
0:15:03	一方で地耐力については、その支持力、
0:15:07	要するに支持力奉仕キー能適用性だとか妥当性だとか、
0:15:15	底盤最下試験の妥当性とかそちらの方になって、地中応力の分散と少し違うのかなという気もしていて、ただ一方で
0:15:25	60 度にしか分散しないんであればということもあって少し悩みました。
0:15:30	ただただですね、本当に市場で市場公式というのはあくまでも水平のは無限の地盤で、クサビ理論で出された市場公式ですし、
0:15:42	実際に平板再かもうもし、
0:15:45	60 度で切った、
0:15:49	法面の乗り方、
0:15:51	今、係集が 1 メーターありますので、設計的には 50 センチのところ为例えば平板を置いて平板最下したら、
0:15:59	本当にこの値になるのかなあというのが少し、
0:16:03	少し疑問に思いました。
0:16:05	なので、先行にあるように、例えばですよ、これはこうしろということではなくて、
0:16:11	もう少し地耐力に対する考え方をもう少し詳細に確認していただきたいというのが、です。
0:16:20	例えば、先行で、前回話が少しあったと思いますけども先行であるように、例えば滑りの評価をするとか、
0:16:30	そこら辺までしてやるというのも一つの案です強い、例えばもう極端な話、現地で 60° で斜面切って、
0:16:41	平和再開してみて本当に 0.8 が出るのか 1.2 かなが出るのかというのをやるのも一つの手かもしれないいろいろな夜間考え方はあるんですけれども、
0:16:50	もう一度少しその地耐力に対する考え方を、
0:16:55	詳細に説明していただきたいと考えているんですが、いかがでしょうかどうぞ。
0:17:04	はい。中国電力、高松です。
0:17:08	はい。ご指摘の趣旨は承知しました。今回ですね我々の方も集中力評価、この評価基準値の設定のところは非常に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:20	悩みましてで、前回江崎さんから、頭越しご意見、ご指摘アドバイスいただいたところを踏まえてですね、支持力シキID、算定するとどうなるだろうということで今回
0:17:31	参考資料としてそちらの検討も追加しました。で、服部さんのおっしゃる通りですね、この 60 度の首藤崩壊架空の当間外に、
0:17:44	さらに 30 度の案組閣もとった先に、支持をさせるということなんで、我々としては平板最下反映地盤と同等相当と考えて支持力値を設定していいかなというふうに今回考えましたさらに、
0:17:59	支持力シキイで見てもですね、それ相当の支持力がえられるっていうふうな結果にもなりましたんで、この 0.8 っていう、評価時点は概ね妥当な値かなというふうに考えました。
0:18:12	ただ今、いただいたご指摘のところも踏まえてですね、ちょっと検討してみ、資料の拡充を考えてみたいと思います。以上です。
0:18:23	規制庁の羽鳥ですはいわかりましたただですね私もそこで少し悩んだんですけどただ実際設計としては、1 メーターの係りしろ設計してるということで、現実はまだ少し保守的な、
0:18:36	形で係長があるということは理解をしつつ、あくまでも設計の中ではそういう保守的な評価をしているので、設計で考えればそういう評価をするべきなので、
0:18:47	土地耐力を考えると、例えば滑り評価ぐらいはしておいた方がいいのかなということも考えられるし、
0:18:54	集中力公式も、埋め込みの効果は今回NDの効果な、0 にしてるので、いいのかなとか思う、いろんなことを考えつつ、
0:19:04	もう少し地耐力に対して説明性向上の観点からもう少し説明スルーできることがあるんじゃないかということで、もう少し説明を拡充していただきたいという趣旨で確認をしてるんですがいかがでしょうかどうぞ。
0:19:19	はい。中国電力、高松です。ちょっと下の資料で、58 ページをちょっと合わせて見ていただきたいんですけども、
0:19:31	この図の 8-2 参考の前にあります通りですね。
0:19:41	はい。58 ページですね、図の 8-2 の参考ですね。
0:19:45	これが事故を布施通の断面で切った概念図イメージ図にはなるんですけども、係長 1 メートル、これは観測 1 メートルの外に確実に確保する、これは前回の式鉄板の時から随分アンゼンガワニ変えたところでありませさらに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:04	ある程度アスファルトの下辺りに中に設置するような形になりますので、この1メートルが実態さらに、係長としては、確保される側になりますので、
0:20:17	地盤の支持力としては安全側に期待できるのではないかなと思うんですけど先ほどおっしゃった滑りとかそういったところの確認は拡充、説明性拡充の観点からは、
0:20:29	資するとは思いますが、ちょっとその辺り、検討してみたいと思います。以上です。
0:20:36	きちんとハットリですはいわかりましたあくまでも滑りの評価をしてくれと言ってるわけではなくてないので、コメントとしては93番の、
0:20:47	地耐力評価の妥当性について詳細に説明することというところを残して、いろいろ検討していただきたいと思いますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:20:59	はい。中国電力高松です。承知しました。検討してご回答いたします。以上です。
0:21:07	規制庁江崎です。
0:21:09	うん。綿Cが言っているのは基本的には水平成層状態ではないので、
0:21:15	ハットリと言ってる橋井と一緒に、いわゆる支持力と滑り計算って、
0:21:21	一体もんなんで、基本は一緒なんで、
0:21:24	だから
0:21:25	今回の処置、
0:21:28	が、多分これ大事だと思うんだけど、言われるようにこれ説明性の向上の観点で、例えば、
0:21:36	今部って書いてある一番底の隅角部がありますよね。そこから角度を振って、
0:21:41	1名センター、
0:21:43	すればその支持力になるんで、いわゆる滑り降雨時支持力なんで、そういった証明が多分、他のサイトでもやっているんで、一番わかりやすいと思うんですよね。
0:21:55	今多分、この
0:21:58	即30度、
0:22:00	交差されている部分と、その1メートル
0:22:04	を設置させておけば十分安全側になりますよと一般論的っていう一つの立証。
0:22:11	検証のためにそういえばですね、説明はできると思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:17	もうそれでやった方が早いと思うんですがいかがですか。
0:22:21	他の他サイトと同じような日、
0:22:24	話ですすね、この今の方法を、
0:22:27	を検証して、論より証拠という形で、説明性向上の資料をちょっと加えるということだけだと思うんですが、
0:22:43	はい。
0:22:45	はい。中国電力高松です。承知しました。検討させていただきます。
0:22:49	以上です。
0:23:04	規制庁の梅田です。
0:23:07	ちょっと例えば資料 1 の 13 ページの回答の部分の 91 番と 93 番の書き方が少し気になったんですよ。
0:23:19	ここで言ってるのは、もう敷き鉄板をやめました、丁稚変えましたってことですよ。
0:23:25	これだけ読んでみると、テーパーによる損壊対策については、車両通行時の地耐力、接地し鉄板のたわみ、
0:23:36	崩壊幅の考え方を見直して書いてあるんで最初見たときにまだステップを使うのかなというふうにちょっと思ったんですが、
0:23:43	結局あれですよ最終的にはしきいてパンというのを、例えば、
0:23:50	一団地反力とか田上の菅神戸くん観点から設計を見直しまして、H型 5 にすべて変えましたってことを明確に書いといていただければいいんじゃないかなというふうに思います。
0:24:05	はい。中国電力、高松です。ちょっと説明がわかりにくくてすみませんでした。趣旨は、ご指摘いただいた通りですので、設計を見直し、見直しました。式鉄板を取り止めてH型工に対策を変えました。
0:24:20	というところを明確に確認します。以上ですはい。すいませんお願いします。阿藤。補足の 4 の 59 ページなんですけど。
0:24:31	ここで支持力を今回出されてるんですけど、
0:24:36	最終的には短期許容応力度に小佐野で決まって問題ないんですが、ここで言っている、 $\alpha$ $\beta$ 表の 8-1 の参考で出てる形状ケースですよ。
0:24:47	これが、
0:24:48	なぜこの正方形円形の部分になるのかってのちょっと説明していただけますか。
0:24:57	はい。中国電力、高松です。ちょっと先ほどと同じ図になりますけど、は、58 ページの図の 8-2(3) 項をお願いいたします。
0:25:10	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:10	こちらの支持するところの片側部分を見ていただきたいと思うんですけど、今回し、H型工で、係長として崩壊幅のプラス1メートルを見ますということに、設計の考え方をしておりますので、
0:25:28	片側のところは、今13.7というのが、崩壊幅で出てますけど、その外側に1メートルずつ、当間係長を設けたスパン超15.7ということにしております。
0:25:40	で、ここが横方向のCG幅になると思います。で、このH型工ですけど、この地点で言いますと、平面的にはですね、
0:25:52	52ページをお願いいたします。
0:25:59	こういった52ページにお示しますようにこの1方平面的には、奥行き方向に3メートル以上確保できるように、今回この場所はH-400になりますので、横方向に八つ並べる形になります。
0:26:16	で、今回支持力評価、ないしこのH形鋼設計っていうのは奥行き方向に1メートル、考えて設計しておりますので、
0:26:29	なのでこの幅1メートルで奥行き方向の設計の考え方として奥方向1メートルこれを考えて、1メートル掛ける1メートルの正方形が強い地盤支持面積というふうに考えまして、こちらの
0:26:43	$\alpha$ $\beta$ の係数設定において正方形を採用した、1.3と0.6を採用しているというのが今回の考え方でございます。以上です。
0:26:52	すいませんわかりました係長に1メートルの係長の話わかるんですが奥行き方向の1メートルってどう、どう、
0:27:00	単に単位な単位メートルあたりを見たってということなんですか。はい。中国電力高松です。おっしゃる通りです。奥行き方向単位長さあたりを見ておまして、
0:27:11	H形鋼で言いますと、H400 のですので、2.5 本分のH型工を考慮した設計にしております。以上です。
0:27:21	ということです。
0:27:26	いや、ちょっと私自身が思ったのはね
0:27:29	そうなんすよ。タイヤ乗ってところが日本だから。
0:27:32	なんで一型行400しかないのに、こういう正方形になるのかなってのはちょっと意味わかんなかったんですが、便宜的にそう求めたっていただけなんですね。
0:27:43	すいません中国電力高松です。単位奥行き当たりの1メートルの考え方のところになるんですけども、同じく58ページの図、
0:27:57	を見ていただきたいんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:59	タイヤの、今回評価した車両のタイヤ幅ですね、片側のタイヤ幅、これがおおよそ 50 センチから 60 センチ位ぐらいになります。
0:28:10	で、このH型工の敷設位置っていうのが、この 58 ページの図に断面図に示します通り、地中アスファルトの下辺りで設置することになりました、
0:28:24	この設置、深さを考慮しまして、荷重分散を考えますと、奥行き 1 メートルのH型工でタイヤの、今回、評価対象としてる光臨の、
0:28:35	片側のタイヤの荷重負担をするっていうふうな考え方ができるかなと考えておまして、この奥行き 1 メートルということで今回考えております。
0:28:45	規制庁の村瀬はわかりました。タイヤ 1 本は 50 センチぐらいなんだけど、
0:28:51	深さ方向の広がりを考えて 1 メーターぐらいが大体妥当だと見たということなんですね。はい。中国電力高松です。おっしゃる通りです。以上です。すいませんわかりました。
0:29:02	ここ 0 例えば 59 ページの表 8-1 にそういうふうな説明を入れといていただくことはできませんでしょうか。
0:29:09	はい。中国電力、高松です。失礼いたしました。そういった記載が必要かと思いますので、ご指摘の通り記載の拡充を図らせていただきます。以上です。よろしく申し上げます私からは以上です。
0:29:27	規制庁の服部です。私ちょっと先ほど、ミウラの確認でずっと勘違いして、
0:29:33	道路供用後幅 20、200、やってるので、
0:29:38	一本当たり 2 体やあ、全部載せてるのかなと思ったんですけど違うんですね 1 メーターに分散させてっていうことなんですね。
0:29:45	要はは回答傾向ですけどわかりましたずっと勘違いして、鉄板の場合でどれだけの幅で、断面係数見るんですかっていう話があって 1 号の場合は一本当たりで見てるのかなと思ったんですけど、
0:29:59	1 メーター分、2. 五名 2.5 本分で見てるということで理解をしましたすみません、よくわかりました。
0:30:07	他
0:30:09	あればお願いします。
0:30:25	規制庁のタニグチです。
0:30:27	92 番のヒアリング、92 番のところですけども、江崎イデの代表性について個別説明の前に檀前段で追記していただくということですけど、
0:30:38	基本的に、わかりました。ただちょっとこの書き方の中で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:44	大段差の緩和対策と、浮き上がり対策と損壊対策の実施箇所について整理しているというふうに書いてるんですけど。
0:30:54	下の文章のところで、浮き上がり対策の方については、どこにも記載がちょっとないんです。それで、
0:31:02	段差緩和対策等損壊対策については、
0:31:08	当初番号 3 と 29 を代表としましたと書いてあるんですけど、浮き上がり対策についても記載としてこの文章の中に追記をしておいてください。
0:31:18	そうしておいていただければ、後の 8.4 のところで読みに行くことか、できるかなと思いますので、ちょっと言葉の追記をしていただければと思います。以上です。
0:31:33	はい。中国電力、高松です。
0:31:39	ございます。33 ページをちょっと見ていただいてもよろしいでしょうか。
0:31:49	はい。
0:31:51	これ対策の一覧表を整理しております 33 ページは、結論申しますと浮き上がり対策が必要な箇所というのが、こちら示します 26 番、この 1ヶ所になります。
0:32:06	なので、ご承知の通りかもしれないんですけど、1ヶ所がなお書きみたいな形になるかもしれないんですけど、こちらは 26 番を代表で見 1ヶ所しかないっていう前提で 1ヶ所をご説明するという補足書き、
0:32:21	追記をさせていただきたいと思います。はい、それで結構ですのでよろしくお願いします。
0:32:37	規制庁のハツリです。
0:32:39	そうしますと 91 番については回答のところの記載の適正化ということで、これは了としてもよろしいでしょうかね。はい。
0:32:49	了としたいと思います。
0:32:51	92 番についてはこれ一残しますかそれとも記載の適正化。
0:32:57	残しますか。わかりました。では 92 番についても、先ほどちょっと追記ということで、基本的には反映されてるということで、ここは量として記載の適正化の方で確認
0:33:09	説明をお願いしたいと思います。
0:33:12	93 についてもちょっと田上とかもそういうところの説明がありますし一応 1 項、
0:33:18	であるということの説明があるので、ここは中国電力におまかせします一応ですねこの中の一部の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:26	地耐力評価の妥当性について詳細に説明することということを残してここで回答つつ、他のやつにしても結構ですし、ここで同じ小コメントでは、引き続きにしても結構ですのでそこはお任せしますのでよろしく願います。
0:33:42	他コメント回答について、何か説明、確認したいことがあれば願います。
0:33:48	よろしいでしょうか、ではコメント回答は以上としたいと思いますそれでは適正化のほうで説明するところがあれば願いますどうぞ。
0:34:00	はい、中国電力、大窪です。
0:34:03	適正可能。
0:34:05	関しまして、資料番号一番の 14 ページ、願います。
0:34:12	ナンバー250 番、願います。
0:34:18	適正化内容としまして、
0:34:20	表 8-6 に、浮き上がりの
0:34:23	評価対象構造物の詳細な地下水を記載しました。
0:34:28	こちらにつきましては、
0:34:32	補足、資料番号 4-27 ページを願います。
0:34:45	表 8-6 に、浮き上がり評価対象構造物の詳細な地下水を、
0:34:51	記載しております。
0:34:56	こちらは以上になります。適正化は以上になります。
0:35:03	規制庁のハトリです。それでは適正化全体について確認する点がある方願います。
0:35:09	よろしいでしょうか。はい。それでは新規に説明するところがあれば願いますどうぞ。
0:35:18	はい。中国電力、高松です。新規に説明する事項はございません。以上です。
0:35:23	規制庁の服部です。はい、わかりました。それでは資料全体を通して確認規制庁側から確認する点がある方願いますどうぞ。
0:35:34	それでは私から 4 点ほど確認をさせてください。
0:35:39	まずう、資料番号 3、あ、ごめんなさい。2 番を、
0:35:46	の 15 ページ。
0:35:48	1 じゃなくて、
0:35:50	22 ページを願います。
0:35:55	この、
0:35:57	表 2-6 のところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:00	のところ第 1 保管エリアの
0:36:03	敷地下斜面滑りについては、
0:36:06	Fsが 1.0 以上になるということで問題ないと、というような評価をしています。
0:36:13	一方
0:36:15	58 ページを見ると、
0:36:20	この第 1 保管エリアの敷地下斜面の術については、評価対象外になっているようにも見えるんですけども、
0:36:29	ここわあ、
0:36:31	評価をしてFS行くんが、1.0 より大きいということを記載してるんでしょうかどうぞ。
0:36:46	中国電力のヨシツグでございます。資料確認いたしますね少々お待ちくださいませ。
0:37:56	すいません中国電力のヨシツグでございますご質問の、すいません確認だけさせていただけたらと思います。
0:38:02	先ほどの
0:38:05	22 ページの方では、
0:38:07	ほぼ、
0:38:09	周辺斜面の崩壊ということで代表館エリアについては安全率を御説明して問題ないというご説明をしているんですが、
0:38:16	59 ページ。
0:38:18	の方の、評価対象斜面に、その斜面が上がっていないというところが、ご質問の趣旨でございませうか。規制庁のハツリですはい 58 ページの、
0:38:30	図 8-3 を見ていただきたいんですが、
0:38:33	第 1 保管エリアの左側、
0:38:37	いわゆる、
0:38:38	敷地
0:38:41	下斜面と呼ばれるところなんですけれども、
0:38:44	ここには色がついていないと、評価対象斜面のところは、
0:38:49	品、何だこれ肌色。
0:38:54	オレンジ色の越冬で塗りつぶされてるはずなので、
0:38:59	ここが非対象斜面になっていないんだなというふうに私はここで読みましたと。
0:39:05	一方で、例えば 21 ページを見ていただきたいんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:10	第 1 保管エリアの下側、
0:39:12	ここについては、一応敷地下斜面ということで色が塗られていると。
0:39:19	22 ページの方ではfsが 1.0 より大きいという評価結果が載っているということで、
0:39:26	すいません
0:39:28	ちょっと、
0:39:29	この評価がこっちの方の 2、58 ページのところ、対象となってるようなことに、という書き方なのかどうかちょっとわからなかったんですけども。
0:39:39	これを見る限り一評価をしていないんじゃないかなということだったので、菅感じたので、事実確認だけさせていただきたいということで、確認をしています。以上です。
0:39:51	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと確認をさせていただいてこのヒアリングの中で、またご回答させていただけたらと思います。以上です。
0:40:01	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは同じ②の資料の 81 番お願いします。81 ページをお願いします。
0:40:11	ここでは損壊対策のカッコ式鉄板が残ってるんですけども、
0:40:16	ここは動きということでよろしいでしょうかどうぞ。
0:40:24	はい。中国電力高松です。こちらについては、今後、修正をします。で、本日ご提出しました資料の④。
0:40:36	ですねこちらの、
0:40:45	ちょっとお時間いただけますか。
0:40:50	36 ページ④の資料の 36 ページをお願いします。
0:40:58	はい。
0:40:59	この 36 ページの方ではですね今回ご提出した際に敷き鉄板を取り上げるということにしましたので
0:41:07	一型コウノ耐震化対策のだけにしております。
0:41:13	はい。
0:41:15	なので今後、支援適正化を図ります。はい。以上です。規制庁の服部です。はい。②の資料の方の適正化を図るということで理解をしました。はい。
0:41:25	では引き続き④の資料の方の、
0:41:28	26 ページ。
0:41:30	29 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:36	そうそう。ここは前回から少し気になってとこ気になってるところではあって、
0:41:42	条件が四つ書いてありますと、
0:41:45	条件 1 についてはもう明白なんですけれども、3 と 4 については、
0:41:51	この資料からだけでは少し確認ができないということで、
0:41:56	次のページを見る等、③と④については 5 断面、
0:42:02	が相当するという理解をしています。
0:42:06	5 断面なので、
0:42:08	例えば図、断面図等をどこかにさ、示してですね。
0:42:13	こういう補強をされてるんだとか、こうこうで 60 以上あるんですという ような、エビデンスをですね、付けていただくことはできますか、でしょ うかという確認なんですがいかがでしょうかどうぞ。
0:42:28	はい。中国電力、高松です。江藤承知ました。③③④について除外にな る 5 構造物ですかね。こちらのエビデンスご説明できる図面等をお付け するようにいたします。以上です。
0:42:45	規制庁のハットリですはいわかりました。最後 40 ページになります。
0:42:52	路盤、今回の対策については、
0:42:58	路盤補強材による対策もあるというふうに理解をしています。
0:43:03	これを見ていく等、
0:43:05	路盤たいす補強材による対策をしたときに、この段差、
0:43:11	がどれぐらいになるかというのが、少しどこに書いてあるかわからなか ったんですが、
0:43:16	この 40 ページのう。
0:43:18	実験の写真を見る限り、
0:43:22	この普通の乗用車がほぼぎりぎり写真に当たるぐらいの段差がついて いるということは、
0:43:30	例えば移動式代替熱交換設備の車両とカー。
0:43:34	そういう 42 ページにあるようなですね、大型送水ポンプ車の車両とか、 これはですね、
0:43:42	そこが当たるんじゃないかなというふうに少し、
0:43:46	この写真を見て疑念を持ちましたと、いうことで、
0:43:50	実際にこの対策をやったときに、本当にこれ、これらの、
0:43:57	トラック系の車両が通れるかどうかというのは、
0:44:00	どこかで説明があるんでしょうかどうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:12	中国電力、高松です。衛藤さん 18、37 ページ辺りからですね、ジオテキスタイルの段差緩和対策の説明をさせていただいております、38 ページで、
0:44:29	記載させていただいてるのが、今回我々の島根原子力発電所で発生する段差と同等規模の 55 センチの、
0:44:40	ダンサーでのこの一般車両の走行性ですねこの写真に示し 38 ページの写真に注意します。一般車両の走行性と、
0:44:50	あとの際の事業的債 1 枚当たり発生する引張力を説明して、我々の島野現職発電所にそのジオテキスタイル 2 枚敷設が、
0:45:03	当間設計的に妥当であるというふうな説明がこの 38 ページから以降展開されているという状況では土肥さんのご指摘の状況での、今回の対象車両の走行性のところというのはここの中には今、
0:45:17	入ってないという状況です。
0:45:20	以上です。
0:45:21	規制庁のハットリですはい。41 ページの図 8-13 を見ると、
0:45:26	この車両が通ったと昨日ジオテキスタイルの強度の計算をしているというふうに理解したので、
0:45:34	当然この車両が通るんだろうなという理解だったんです。
0:45:40	それに対して、この 55 センチの段差のままではおそらく通れないということなので、
0:45:49	その場合はどうするのかなということで確認をしたいんですがいかがでしょうかどうぞ。
0:45:54	はい。今回この事業的スタイルの敷設でもって、この段差 55 センチのままだと、通行には支障があるとは思いますが、
0:46:06	今回、そこがジオテキスタイルによって滑らかな金さんになりますので、そこは通行可能なものと考えております。
0:46:18	以上です。
0:46:20	規制庁の服部です。ということは 55 センチの段差があってもそれが滑らかに勾配をつけて段差がつくので、基本的には通れるというか、
0:46:33	ことで対策工が成立しているということで、
0:46:37	理解しておけばよろしいでしょうかどうぞ。
0:46:41	はい。中国電力のヨシツグでございます今服部さんがおっしゃられた通り、本来、何も無い状態であれば 55 センチの段差ができるんですけども、今回こういった補強。
0:46:52	の対策をすることによって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:54	実際の段差はできるんですけども、先ほど言いましたように、滑らかな、要は勾配としては、車が通れるような勾配で、
0:47:04	取れる形の、こういった傾斜状のもので通れるような形になると。
0:47:10	そういったものを敷設することによって、大丈夫です。で、
0:47:15	今回ここでお示してるのは事業的スタイルそのものが引っ張り強度等で大丈夫かという計算をここでお示しているというものでございます。以上です。
0:47:27	規制庁の服部ですはい考え方はわかりました。
0:47:31	もう一つ少しわからなかったのがこの図の 8-12 の意味なんですけど、
0:47:37	この 8-12 のところのこのなんか変曲点というのが少し、何のこと言ってるのが少しわからなかったんですけども。
0:47:44	ここら辺で滑らかな変形になるというようなことを説明してるのかなと思いつつ、
0:47:51	この図というのは何を示しているのかなっていうのがわからなかったので、この図について少し補足で説明していただいてもよろしいでしょうか。どうぞ。
0:48:03	はい。中国電力、高松です。この図で言うところの、100mmの沈下から550mmの沈下のパターンがございまして、それぞれごとに、
0:48:16	この事業的布施ファイルを敷設することによってその落場所で生じる勾配が示されているものかと思っております、今回、55センチの、
0:48:26	段差ができる場所で生じる、滑らかにすりつくところの、変曲点勾配が13.7度ですと。
0:48:37	いうふうな説明になっていると考えてます。
0:48:41	で、この可搬型車両の伴狩野勾配っていうのを、今15度ということやっておりますので、この時55センチで滑らかな段差ができる場所の勾配についても、この車両が窓販可能走行可能なものというふうに理解しております。
0:49:00	以上です。
0:49:02	規制庁の服部です。わかりました。
0:49:05	す。
0:49:08	ちょっとこの図だけだと、この赤い
0:49:11	角度がかなり立ってるように見えるんですけど、これスケールの問題だと思うんですが、
0:49:16	55センチがー0メートルから2メートルの間隔で55センチが滑らかに、その角度は13.7。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:26	ぐらいになりますと、その 13.7 度ぐらいの角度だと、こういう、トラック系の車両も取れますというそういう陸通の説明だということで理解すればよろしいでしょうかどうぞ。
0:49:37	はい。中国電力高松です。おっしゃっていただいた通りと思って考えております。以上です。
0:49:43	規制庁の服部ですはい。わかりましたまた何かちょっとわからないことがあったらまた後日でも確認したいと思います。
0:49:50	それでは私からは以上ですが他に確認する点がある方お願いします。
0:50:06	規制庁のタニグチです。
0:50:09	二、三ちょっと確認をさせてください。
0:50:15	資料の 2 番目の資料。
0:50:18	の店舗指導の 15 ページ目のところです。
0:50:24	これは保管場所の評価方法、当トーカイとは損壊の評価をしているところですけども、
0:50:32	この文章の途中に、
0:50:35	Sクラスの構造物タンク等もしくはSクラス以外で基準地震動Ssにより倒壊に至らないことを確認している構造物については、評価対象外とすると書いてあるんですが、
0:50:50	第 2 保管エリア次のページの 16 ページの第 2 保管エリアの周りにある鉄塔
0:50:58	ナンバーは鉄塔とナンバーツ一鉄塔というのは、
0:51:02	これでいうと、Sクラス以外で基準地震動Ssにより倒壊に至らないことを確認している構造物になるんでしょうか。
0:51:14	はい。1 度 10 億。どうぞ本社、お願いいたします。はい。中国電力の藤本です。鉄塔につきましてはおっしゃる通りの整理になりまして、Sクラス以外で、
0:51:25	耐震評価、地震により倒壊しないものを確認しているものになります。以上です。はい。そういう位置付け形とすると、
0:51:34	中身はわかりました。それで、
0:51:39	そうすると評価の対象外っていう形になっちゃうので、
0:51:44	評価結果の中に記載されてルーで、
0:51:48	これ一、
0:51:50	ここで外しちゃうと評価結果の中に、
0:51:56	耐震評価をして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:59	倒壊しないことを確認したから問題ないって書いてあるんだけどですけども、
0:52:05	消火対象外として外すことじゃなくて、
0:52:09	これはこういうふうに評価しましたっていう趣旨なんじゃないかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
0:52:20	中国電力の長です趣旨を確認させていただくと、鉄塔につきましては、他の保管室はヒアリング鉄塔のヒアリングで説明させてもらっているところで、鉄塔がその地震により倒壊しないことを確認しているという評価の対象に、
0:52:35	なっているので、この資料2番のこのところ評価対象外とするところちょっと意図として違うんじゃないかという趣旨でよろしく願いします。はい。
0:52:52	中央でのフジモトです。ここの箇所は評価対象外というちょっと表現ではなくて地震により影響がないことを確認してるとかちょっとそういう、
0:53:01	各トーカーがないことを確認した上で影響がないっていう、ちょっと表現を見直す方向で、
0:53:07	検討したいと思います。以上です。はい。よろしく願いします。
0:53:13	それからもう一つ、文書の中で、
0:53:18	倒壊の影響範囲は、構造物タンク等の高さに相当する範囲、
0:53:24	それから外装材の落下については建物の高さの半分というふうに設定していると書いてありますんで、
0:53:32	それにあわせ、その次に、
0:53:35	地震、
0:53:36	随伴火災、薬品漏えいに及ぶによる影響が予防範囲にって書いてあるんですけど、
0:53:42	これは実査この中身を見てると、
0:53:47	こういうのに、
0:53:48	相当する担保はありませんっていう記載になってるんです。
0:53:53	ですよね。
0:53:56	実際問題として、前回、火災と漏えいに、
0:54:01	よっての影響養護範囲を設定して、
0:54:04	確認してるんじゃないんですよね。
0:54:08	この書き方がちょっと違うんじゃないかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:54:21	中国電力の所でちょっと趣旨が合ってるかちょっと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:24	確認五名なんですけど、例えば一番最後の火災でありましたら、15 ページであれば、監査拾いに影響範囲が保管場所に含めない中で評価すると評価方法を示しております、
0:54:36	資料の 19 ページ目、
0:54:39	図 2-4 第四課の方では、10 タンク等の火災範囲がそれが保管場所に入っていないかというのを、次、評価結果やったところの図示を示して、
0:54:50	おりますので評価方法と結果のところでは実際や、影響があるかないかってところは、見ているとはいうことですかそうすると、
0:55:00	第 4 保管エリアで、
0:55:03	放散熱強度 1.6 キロワットパー平米っていうのが、
0:55:09	これが今言ってる。
0:55:11	随伴火災の及ぶ範囲かどうかの判断のツール。
0:55:18	条件にしてるっていうことですか。
0:55:22	中国電力の藤本です。その通りでございます。以上ですその辺は、そういうふうに設定して考えたっていうことを、
0:55:31	どっかに記載しておいていただくか、引用するかしていただかないと。
0:55:37	図の 2-4 の方さ熱強度っていうところの趣旨が伝わらないんじゃないかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
0:55:52	中部電力の藤本です。この火災評価につきましては設置許可のまとめ資料の方でやったところ、今回の工認の方では評価結果にあたる範囲を図示して説明をしております。
0:56:04	今回この購入の方でもそのEPの資料の方をそのまま再掲する形になると思いますがそれでよろしかったでしょうか。はい。その辺ようしておいていただければいいんじゃないかなと思いますけれどもいかがでしょうか。
0:56:21	中部電力の藤本です。ちょっと文章の意図として、ちょっとして言いようというのは、
0:56:27	EPの資料のどここのページ参照という意味の引用でしょうかそれとも資料を丸ごと、工認でも再掲という意味合いでしょうか。
0:56:37	中国電力のヨシツグでございます。工認の中ですので、
0:56:40	設置許可で説明した資料を、今回のこの文の中にまた再掲させていただくことをさしていただきたいと思います。以上です。はい、わかりました。よろしく願います。
0:57:02	それからもう 1 点だけちょっと確認をさせていただきます。
0:57:06	④の資料。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:10	ですけれども、
0:57:12	④の資料の 56 ページ目のところ、
0:57:25	ここに荷重図が載ってて、
0:57:31	基本的に最大となる場合の荷重とかこれですって書いてあるんですけども、
0:57:37	これが最大であるっていうことの評価というのは、
0:57:43	へえ。
0:57:44	藤。
0:57:46	52 ページ目のところに、
0:57:51	単純梁モデルで算定して解析コードエンジニア、エンジニアでスタジオ面内を使用すると書いてあるんですけども、
0:58:00	これで評価をして最大であるっていうばっか、いう条件を決めたっていうことでしょうか。
0:58:09	はい。中国電力、高松です。今おっしゃっていただいた通りこの解析コードの中でですね、いろんな最下パターンをですね、車輪が作用する位置が、
0:58:20	いろいろ変わっていく最下パターンを検討の上、今、56 ページでお示ししてるような状態がですね、曲げせん断C. 反力、
0:58:31	それぞれについて、一番厳しいモードであるっていうのを確認して、今回の評価結果をお示しております。以上です。ということですね。はい、わかりました。その辺はここを読みに行けばわかるんですけど、
0:58:43	本当か重度のところにもそういうふう書いておくと、これで決めたんだなってことはわかるかなと思ったんで突然最大となる場合って書いてあるんで、
0:58:53	ちょっとはい。
0:58:55	わかりにくいかなと思いました。
0:59:00	いかがでしょうか。はい。中国電力、高松です。この 56 ページの図 8-22 と 23 のところに図タイトルとしてその辺り書いてあるだけなので、
0:59:11	ポツの荷重図のところにですね、リード文でちょっとその趣旨を追記させていただいて、そう。今の下の荷重図がそういったものを示すってことがわかるように明確化します。以上です。はい。よろしく申し上げます。以上です。
0:59:29	すいません中国電力のヨシツグでございます先ほど服部さんからありました大長管エリアの斜面の回答の準備が、本社側でできたので、ご回答に入ってもよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:59:42	規制庁の羽鳥ですはい、お願いしますどうぞ。
0:59:48	はい中国電力のユリです。
0:59:50	ご指摘いただいたのは第1保管エリアの西側の敷地下滑りの評価について東映と聞いております。
0:59:59	こちらにつきましては、
1:00:01	資料②の58ページでのご指摘ということで理解しておりますけども、
1:00:09	図の3-8の評価対象断面位置見ていただきますと、
1:00:14	こちらで、
1:00:16	お示しておりますのは、基本二次元、道外断面こちらを示してございまして、
1:00:24	各斜面、
1:00:25	グループ分けをしましてグループAからDまで、ノジリ乗り入れ標高で区分けをしまして、
1:00:32	その中で最も厳しいと考えられる断面を、
1:00:36	2段目ないしは1断面、二次元動解断面として選び出しているものでございます。
1:00:41	第1保管エリアの西側の敷地下すべりににつきましては、緑色でグループピングしておりますグループに該当してございまして、
1:00:50	こちらの5号断面にですね、代表できるという評価をしております。これは補足説明資料の方でご説明させていただいております。
1:00:59	その時には岩級とか斜面高さ勾配、あとは簡便法による数値的な比較も行いまして、5断面に代表できるという説明をしているものでございます。以上です。
1:01:15	規制庁の服部ですはい今の説明でわかりました。58ページの図3-8というのが、何だろう、21ページの
1:01:28	対象者メイン。
1:01:30	と、大長河相敷地下以外はすべて断面が切つてあるような形で記載されていたので、少し勘違いをしましたが、
1:01:41	あくまでも図の3-8というのは、簡便法を含めて、代表としたAA断面で二次元動解を得る断面ということでたまたまそれだけが、ここ
1:01:55	敷地下だけが一致しないので、そういうふうに見えたんですけども、実際に第1保管エリアの敷地資産についても、簡易簡便法での評価をやっていると。
1:02:06	ということで、その評価を、20、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:10	22 ページの表の 2-6 に記載しているというふうに理解をしましたがよろしいでしょうかどうぞ。
1:02:19	はい中国電力のユリです。概ねおっしゃる通りの理解で、結果も出ないと思います。以上です。
1:02:27	規制庁の服部です。概ねというのが少し気になりますけれども
1:02:31	きちっと評価をして記載しているということで理解しましたのでこれで結構です。
1:02:38	中国電力李です大変失礼しました大江と申しましたの簡便法はあくまで
1:02:44	設計震度として 0.3 の K10.3 の鉛直で 0.15 というものを与えてですね、
1:02:53	相対的な評価で比較をしているものでございますので、
1:02:58	結果 5 号断面に 2 次元、藤堂家の滑り安全率として代表できるので、
1:03:04	5 断面よりは滑り安全率ある、あるということで、1.0 以上と記載しているものでございます。以上です。規制庁の服部
1:03:15	わかりました少し勘違いをしてました。
1:03:20	その敷地下の簡便法の滑り安全率 II 滑り評価をやって、滑り安全率 $F_s$ が大なり 1.0 ということを確認してるのではなくって、
1:03:32	それを含めた代表性が 55 段目にあるので、5 号断面が 1 度を超えているということそれを、小野田台帳管理④の
1:03:44	敷地下のすべりに適用して、1.02 以上としてるということで、少しちょっと説明がぐちゃぐちゃしましたけど、そういう理解でよろしいでしょうかどうぞ。
1:03:55	はい中国電力よりです説明がつたなくて申し訳ございません。おっしゃる通りでございます。以上です。
1:04:01	規制庁の服部ですごめんなさい説明が拙いのは私の方でしたので、り、十分理解できましたのでこれで結構です。
1:04:10	他に。
1:04:12	資料全体を通して確認する点があればお願いします。
1:04:15	規制対面側で確認する点がある方お願いします。
1:04:20	よろしいでしょうか。
1:04:21	それではリポート側で確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:04:28	あ、はい規制庁チギラです。すいません私、1 点だけちょっと確認させてください。
1:04:35	衛藤。
1:04:36	④の資料の、
1:04:38	16 ページの表の 8-1 についてですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:44	この表は許可時から同じ表がついていて、もしかしたら許可時にもですね、確認したかもしれないんですけどちょっと忘れてるかもしれないので、もう、ちょっと念のため、
1:04:57	ちょっと確認させていただきたいんですが、この、この表の 8 の通し番号で 40 番、
1:05:05	②貯水槽の 2 地域、日のアクセスグループ、
1:05:11	期が違っているところの評価なんですけど、これ 2 段書きになっていて、
1:05:20	この
1:05:22	多分スロープの
1:05:27	ところの貯水槽に、
1:05:30	接続するところと、あと貯水槽の接続されるというか除却になるようなところ。
1:05:40	もう高さ関係から沈下量を出して、それを出して相対沈下量というのを出していると思うんですけど、ちょっと金ちょっと
1:05:54	これ、ちょっと私の理解が正しいかどうかちょっとわからないんですけど、ここについてちょっと詳細に説明していただいてよろしいでしょうか。
1:06:12	はい。中国電力、高松です。こちらちょっと、補説明がこの表だけでなかなかわかりにくいところがありまして申し訳ございません。ちょっと、
1:06:23	補足させていただきますと内川さんのおっしゃる通りですね、こちらについては、アクセススロープ部分から東に向かって走って、和田に貯水槽西側に乗るような形になります。
1:06:38	で、このスロープ自体も埋戻し状に載っておりますので、沈下が生じますんで、和田に貯水槽も当然のことながらモリイと上にございますので、沈下が生じますんで、
1:06:51	永久に貯水槽の沈下量と、このスロープ部分の沈下量ですね、この取り合い部分で構造物が違いますので、あとそのそれぞれの構造物の違いによる沈下量が、量が違うということから、
1:07:09	0.47 と 0.32 これそれぞれの沈下量を出しておりますんで、それぞれの沈下量を出した上で相対沈下さ、ですね相対沈下量として、
1:07:23	47 センチと 32 センチを引いた 15 センチというのが、正味の蓋構造物の沈下後のダンサーということで算定しております。以上です。
1:07:37	はい。規制庁吉良です。大体イメージはわかったんですけど、ちょっとこの表の中の構造物の上端の高さがですね、
1:07:49	スロープ側が 47.7 で、水素が貯水槽が別に 43.39 っていうのが
1:07:57	で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:59	この辺が何かちょっとよくわからないなと思ったんですけど、ここってどういうなんですかね。
1:08:07	形状になってるのか教えてもらってよろしいですか。
1:08:22	はい、中国電力、高松です。ちょっと確認いたしますので少々お待ちください。
1:09:21	はい。中国電力、高松です。こちらの記載しております数値をちょっとご説明いたしますと、53.3 がですね、
1:09:32	これが和田に貯水槽の上端高さであり、アクセスするスロープの話題と貯水槽の取り合うところの高さですね、これ当然のことながら、
1:09:45	53.3 でおなじレベルです。で、47.7 といいますのが、これがアクセススロープ構造物の下端高さになります。
1:09:59	43.39 というのが、和田に貯水槽の下端高さになります。
1:10:09	ということで構造物の構造物間の高低差。
1:10:17	というのが、
1:10:21	13.30 と 8.99 の差分、これが構造物の高低差ということになります。
1:10:32	で、このちなみに 13.3 と 8.99 というのがそれぞれの構造物の当間が岩盤からの高さ、
1:10:42	というふうなことになりますので、この高さ、差分で言いますと、おおよそ
1:10:50	13.3－8.99 ですので、この構造物間の高低差は 4.、数メートル、4.3 メートル程度ですかね。
1:11:00	になりますので、この 4.3 メートルが構造物間の停車ということでこれに 3.5%を掛けたものがこの二つの構造物の相対沈下量になりまして、15 センチというのが算定されております。
1:11:17	はい。中国電力のヨシツグでございます。今ちょっと口頭でご説明したんですけれども、
1:11:23	こちらの両方の図面をちょっとお示してどこが、その高さを示してるかっていうのをお示した方が、特にちょっと複雑な、ナンバー40 番の段差のところでございますので、
1:11:33	そういったものをちょっと追加して、説明をさせていただきたいと思えます。以上です。
1:11:40	はい、大木ですわかりました 40 番その方がいいかなと。結局、結果としては
1:11:48	あれですよ。基準値を満足するので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:53	後のですね表 8-2 のところとはちょっと位置付けが違うのかもしれないんですけどもちょっと識別していただいて、工夫してもらってちょっと今の評価の内容がわかるようにですね説明を充実していただければと。
1:12:10	いうふうに思いますので、よろしく申し上げます。私から以上です。
1:12:17	はい。中国電力、高松です。承知しました。説明を拡充いたします。以上です。
1:12:25	規制庁の服部です他あればお願いします。
1:12:29	よろしいですか。
1:12:31	少し時間もあるのでちょっと私前から気にしてたことだけに天端勝と確認させてください。
1:12:36	簡単なことです 4 ページの 6 番、6 ページお願いし 4、4、4 番の資料の 6 ページをお願いします。
1:12:45	すいませんちょっと。
1:12:47	この岩盤傾斜面という。
1:12:50	の幅というのが、
1:12:52	ちょっとどこの幅なのかがよくわからなくて、岩盤傾斜面っていうのは、
1:12:58	図 4-4 のどこら辺になるのかなっていうのが少しわからなかったんですけど。
1:13:03	説明していただいていたいただいてもよろしいでしょうかどうぞ。
1:13:14	はい。中国電力高松です。おっしゃる通りで 66 ページのですね、断面図を見ていただいてこちらの①と②、
1:13:26	こちらのところで、埋戻しの斜面部がありますけど、こちらのところが岩盤傾斜面部の幅 3 メートルということになります。以上です。
1:13:38	規制庁の服部ですはいわかりました。
1:13:41	あと、これはプラント側にあるんですけども②番の資料の 17 ページをお願いします。
1:13:50	これずっと前にプラント側で私が少し確認したところなんですけれども、
1:13:56	この 17 ページの、例えば 10、図の 2-3。
1:14:00	15 倉庫とかいう 15 倉庫があるんですけども、
1:14:04	15 倉庫の倒壊範囲がアクセスルートにかかっているということで、
1:14:11	このアクセスルートについては、この 15 倉庫の
1:14:15	倒壊範囲以外のところで、3 メートルが確保できてる。
1:14:20	すべてそういうふうな評価になっているということでよろしいでしょうかどうぞ。
1:14:27	はい。中部電力藤本ですからその通りでございますアクセスルート幅。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:31	と15外が影響範囲を差し引いて残りの通行は可能な幅が、3メートル以上車両の通行に必要な幅が確保できていることを確認しております。その資料は、今回地盤管理の定数の範囲外になっておりますが、
1:14:45	すべてすべての敷地内構造物に対して、保管場所の距離やアクセスルートの距離というところを具体的に数値を示して、人の幅が確保できているかというところを評価しております。以上です。
1:14:59	規制庁の服部ですわかりましたなかなかちょっとプラントが
1:15:03	ヒアリングに出てないので、ちょっとこの際ちょっと少し確認をさせていただきました。ありがとうございます。他あればお願いしますどうぞ。
1:15:13	よろしいでしょうか。
1:15:14	中国電力側から何か補足で確認したいことがあればお願いしますどうぞ。
1:15:22	もし、
1:15:25	はい。中国電力、高松です。当社側からはございません。以上です。
1:15:30	規制庁の服部ですはい。わかりました。では一通り事実確認が終了したようですので、本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。